



CHAPTER 8

Session Manager の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスで Session Manager を設定する方法について説明します。
ここでは、次の内容を説明します。

- 「[Session Manager について](#)」 (P.8-1)
- 「[Session Manager のライセンス要件](#)」 (P.8-2)
- 「[Session Manager の前提条件](#)」 (P.8-2)
- 「[注意事項および制約事項](#)」 (P.8-2)
- 「[Session Manager の設定](#)」 (P.8-3)
- 「[Session Manager コンフィギュレーションの確認](#)」 (P.8-6)
- 「[Session Manager のコンフィギュレーション例](#)」 (P.8-6)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.8-7)
- 「[Session Manager 機能の履歴](#)」 (P.8-7)

Session Manager について

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[Session Manager の概要](#)」 (P.8-1)
- 「[ハイ アベイラビリティ](#)」 (P.8-2)
- 「[仮想化サポート](#)」 (P.8-2)

Session Manager の概要

Session Manager では、次のフェーズを使用して、バッチ モードでコンフィギュレーションの変更を実行できます。

- **コンフィギュレーション セッション**：Session Manager モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：コンフィギュレーションの基本的なセマンティクス検査を行います。Cisco NX-OS は、コンフィギュレーションのどこかでセマンティクス検査が失敗した場合に、エラーを返します。
- **確認**：既存のハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーションおよびリソースに基づいて、コンフィギュレーション全体を確認します。Cisco NX-OS は、コンフィギュレーションがこの確認フェーズで合格しなかった場合に、エラーを返します。

- コミット：Cisco NX-OS はコンフィギュレーション全体を確認して、デバイスに対する変更を実行します。エラーが発生した場合、Cisco NX-OS は元のコンフィギュレーションに戻ります。
- 打ち切り：実行しないでコンフィギュレーションの変更を破棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

ハイ アベイラビリティ

Session Manager セッションは、スーパーバイザのスイッチオーバー後も引き続き使用できます。セッションはソフトウェア リロード後までは維持されません。

仮想化サポート

デフォルトでは、Cisco NX-OS はデフォルトの VDC が使用されるようにします。『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide, Release 5.x』を参照してください。

Session Manager のライセンス要件

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	Session Manager にライセンスは不要です。ライセンス パッケージに含まれていない機能は、Cisco NX-OS システム イメージにバンドルされて提供されます。追加料金は発生しません。Cisco NX-OS ライセンス方式の詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』を参照してください。

Session Manager の前提条件

VDC を設定する場合は、Advanced Services ライセンスをインストールしてから、設定する VDC にアクセスします。詳細については、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide, Release 5.x』を参照してください。

使用する予定の Session Manager コマンドをサポートする権限があることを確認してください。

注意事項および制約事項

Session Manager に関する設定時の注意事項および制約事項は、次のとおりです。

- Session Manager がサポートするのは、ACL および QoS 機能だけです。
- 1 つの VDC で作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。
- アクティブセッションの進行中に In-service Software Upgrade (ISSU; インサービス ソフトウェア アップグレード) を実行することはできません。セッションをコミットして保存するか、または打ち切ってから ISSU を実行する必要があります。
- 設定できるコマンドは、1 つの VDC のすべてのセッションで最大 20,000 です。

- 複数のコンフィギュレーション セッションまたはコンフィギュレーション ターミナル モードで、コンフィギュレーション コマンドを同時に実行することはできません。パラレル コンフィギュレーション (1 つのコンフィギュレーション セッションと 1 つのコンフィギュレーション ターミナル のようなもの) は、コンフィギュレーション セッションで確認または検証が失敗する原因になることがあります。
- コンフィギュレーション セッションであるインターフェイスを設定中に、そのインターフェイスをリロードすると、そのときにインターフェイスがデバイス上になくても Session Manager コマンドを受け取ることができます。

Session Manager の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「セッションの作成」 (P.8-3)
- 「セッションでの ACL の設定」 (P.8-4)
- 「セッションの確認」 (P.8-5)
- 「セッションのコミット」 (P.8-5)
- 「セッションの保存」 (P.8-6)
- 「セッションの廃棄」 (P.8-6)



(注) Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合がありますので注意してください。

セッションの作成

作成できるコンフィギュレーション セッションの最大数は 32 です。

操作の前に

正しい VDC を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

手順の概要

1. **configure session name**
2. **show configuration session [name]**
3. **save location**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>configure session name</code> 例: switch# configure session myACLs switch(config-s)#	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前には任意の英数字ストリングを使用できます。
ステップ 2	<code>show configuration session [name]</code> 例: switch(config-s)# show configuration session myACLs	(任意) セッションの内容を表示します。
ステップ 3	<code>save location</code> 例: switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には <code>bootflash:</code> 、 <code>slot0:</code> 、または <code>volatile:</code> を指定できます。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッション内で ACL を設定できます。

操作の前に

正しい VDC を使用していることを確認します。VDC の変更は `switchto vdc` コマンドを使用します。

手順の概要

1. `configure session name`
2. `ip access-list name`
3. `permit protocol source destination`
4. `interface interface-type number`
5. `ip access-group name {in | out}`
6. `show configuration session [name]`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>configure session name</code> 例: switch# configure session myacl switch(config-s)#	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前には任意の英数字ストリングを使用できます。
ステップ 2	<code>ip access-list name</code> 例: switch(config-s)# ip access-list acl1 switch(config-s-acl)#	ACL を作成し、その ACL のコンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	<code>permit protocol source destination</code> 例: <code>switch(config-s-acl)# permit tcp any any</code>	(任意) ACL に許可文を追加します。
ステップ4	<code>interface interface-type number</code> 例: <code>switch(config-s-acl)# interface e 2/1</code> <code>switch(config-s-if)#</code>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ5	<code>ip access-group name {in out}</code> 例: <code>switch(config-s-if)# ip access-group</code> <code>acl1 in</code>	アクセス グループを適用するトラフィックの方向を指定します。
ステップ6	<code>show configuration session [name]</code> 例: <code>switch(config-s)# show configuration</code> <code>session myacls</code>	(任意) セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを確認します。

コマンド	目的
<code>verify [verbose]</code> 例: <code>switch(config-s)# verify</code>	既存のハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーションおよびリソースに基づいて、コンフィギュレーション全体を確認します。Cisco NX-OS は、コンフィギュレーションがこの確認で合格しなかった場合に、エラーを返します。

セッションのコミット

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションをコミットします。

コマンド	目的
<code>commit [verbose]</code> 例: <code>switch(config-s)# commit</code>	現在のセッションで行われたコンフィギュレーションの変更を検証し、有効な変更をデバイスに適用します。検証に失敗した場合、Cisco NX-OS は元のコンフィギュレーションに戻ります。

セッションの保存

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを保存します。

コマンド	目的
<code>save location</code>	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には <code>bootflash:</code> 、 <code>slot0:</code> 、または <code>volatile:</code> を指定できます。
例: <code>switch(config-s)# save</code> <code>bootflash:sessions/myACLs</code>	

セッションの廃棄

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを廃棄します。

コマンド	目的
<code>abort</code>	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。
例: <code>switch(config-s)# abort</code> <code>switch#</code>	

Session Manager コンフィギュレーションの確認

Session Manager のコンフィギュレーション情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
<code>show configuration session [name]</code>	コンフィギュレーション ファイルの内容を表示します。
<code>show configuration session status [name]</code>	コンフィギュレーションセッションの状況を表示します。
<code>show configuration session summary</code>	すべてのコンフィギュレーションセッションについて、要約を表示します。

Session Manager のコンフィギュレーション例

Session Manager を使用して ACL コンフィギュレーションを作成し、コミットする例を示します。

```
switch# configure session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# ip access-list ACL1
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config)# interface e 7/1
switch(config-if)# ip access-group ACL1 in
switch(config-if)# exit
switch(config)# exit
switch# config session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# verify
```

```
Verification Successful
switch(config-s)# commit
Commit Successful
switch#
```

その他の関連資料

Session Manager の実装に関連する詳細情報については、次の項を参照してください。

- 「関連資料」(P.8-7)
- 「規格」(P.8-7)

関連資料

関連項目	マニュアル名
Session Manager CLI コマンド	『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS System Management Command Reference, Release 5.x』
コンフィギュレーション ファイル	『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 5.x』
VDC	『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide, Release 5.x』

規格

規格	タイトル
この機能がサポートする新しい規格または変更された規格はありません。また、この機能で変更された既存規格のサポートはありません。	—

Session Manager 機能の履歴

表 8-1 に、この機能のリリース履歴を示します。

表 8-1 Session Manager 機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
Session Manager	5.0(2)	リリース 4.2 から変更ありません。

